

令和2年3月18日

館山市教育委員会
教育長 出山裕之 様

館山市スポーツ推進審議会
会長 廣中元衛

答 申 書

令和元年11月6日館教ス第18号にて、諮問のあった事項について、慎重審議の結果、下記のとおり、答申します。

記

結論 「スポーツ健康都市宣言」の制定について、素案のとおりとする。

【当審議会の考え】

平成元年度に制定された「長寿健康都市宣言」では、「人生80年時代という長寿社会を迎え、明るく生きがいのある人生を送るためには、健康が最も大切であります。」とあり、当審議会としてもこれに賛同する。さらにこの宣言から30年を経過し、令和となった今、人生100年と叫ばれる時代となった。

オリンピックイヤーである今年、スポーツの観点から「健康」について、考えるには、絶好の機会であると考えます。

最近の館山市では、オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ誘致に向けた取り組みを行い、一昨年にはパンパシフィック水泳競技大会OWS競技が北条海岸で行われ、昨年はオランダとアメリカのトライアスロンチームが市内で事前キャンプを行うなど、館山市のスポーツ環境は、大きく注目されている。

また、今や1万人を超えるエントリーを得るようになった館山若潮マラソン大会では、40年の歴史の中で、ランナーへのおもてなしや応援する文化が館山市に定着している。

「スポーツ」「環境」「文化」の3つは、オリンピズムの3つの柱とされており、館山市はその3つの要素を兼ね備えている。

さらに、「する」スポーツにとどまらず、「見る」スポーツ、「支える」スポーツを含めて、「スポーツ」としており、見て、応援することで、子どもからお年寄りまで、また、障害の有無にかかわらず、元気を得ることができる。

歴史的な東京オリンピック開会式にあたり、館山市が「スポーツ健康都市」を宣言することは、現在だけでなく、将来の市民に向けて、意味深いと考える。